

国立

国会

図書館

月報

NATIONAL
DIET
LIBRARY
MONTHLY
BULLETIN
2025.12

日本でいちばん大きな図書館を探検しよう！
令和7年度こども霞が関見学デー

子どもの読書と学習に役立つオンラインコンテンツ

しらべる・まなぶ・よむ 小学生

調べる・学ぶ・読む 中高生



国立国会図書館 月報

NO. 776
DECEMBER 2025

CONTENTS

- | | | | |
|----|---|----|----------------------|
| 1 | ミュージカル『SPY×FAMILY』
—2023年公演プログラム—
今月の一冊 国立国会図書館の蔵書から | 5 | 館内スコープ
世界に向けて開いた窓 |
| 6 | 日本でいちばん大きな図書館を探検しよう！
令和7年度こども霞が関見学デー | 11 | 本屋にない本
『大哺乳類展3』 |
| 12 | 子どもの読書と学習に役立つオンラインコンテンツ
しらべる・まなぶ・よむ 小学生
調べる・学ぶ・読む 中高生 | 21 | NDL TOPICS |
| 20 | 国立国会図書館キッズページ | 25 | 年間索引 |



表紙：「東京自慢十二ヶ月 十二月 浅草市 しん橋 くめ」
月岡芳年画 井上茂兵衛 明治13 [1880]
錦絵 (37.9 × 25.8cm) 1枚
<https://dl.ndl.go.jp/pid/9370029>

ミュージカル『SPY×FAMILY』 —2023年公演プログラム—

高野雄太



遠藤達哉氏によるミュージカルのための書き下ろしイラスト（アーニャ）



表紙

『ミュージカルスパイファミリー』

東宝演劇部, 2023, 30cm <Y93-R801>

今回の「今月の一冊」は、遠藤達哉氏による漫画『SPY×FAMILY』を原作とする『ミュージカル『SPY×FAMILY』』（2023年）のプログラムである。出演者の写真やプロフィール、制作関係者の情報、一部楽曲の歌詞、脚本・作詞・演出を担ったG2氏と作曲・編曲・音楽監督を担ったかみむら周平氏のトーク、美術を担った松生紘子氏の寄稿等からなる、文字通り「舞台裏」が感じられる一冊である。

本書のようなプログラムが国立国会図書館に永く保存されることは、ミュージカルに関する「事実」だけではなく、関わった人々の「思い」が未来に伝わる一助となる。管見の限り、本書を利用に供する図書館等は当館の他には2か所のみである。公演期間後の入手は通常困難なプログラムが将来も当館で利用できる意義は大きい。

ミュージカル『SPY×FAMILY』は、東宝の製作により、2023年、東京（帝国劇場、3月）、兵庫（兵庫県立芸術文化センター、4月）、福岡（博多座、5月）で上演された。2025年9月から12月にかけて再演され、年末の愛知公演で「大千穂楽」を迎える予定である。

漫画、アニメ、ゲームを原作とする演劇は、2次元の作品を3次元の舞台に表出させるこ

プログラムの写真から—錚々たる顔ぶれ

ミュージカル『SPY×FAMILY』では、森崎ウィン氏と鈴木祐樹氏がロイドを、唯月ふうか氏と佐々木美玲氏がヨルを、岡宮来夢氏と瀧澤翼氏がユーリを、ダブルキャストで、池村碧彩氏、井澤美遥氏、福地美晴氏、増田梨沙氏がアーニャをクワトロキャストで演じた。他の出演者も含め全員を紹介できないのが惜しい多士済々であった。泣く泣く絞り込んだ出演者（キャラクター）につき、本書の扮装写真と原作の当該キャラクター登場コマを示して紹介したい。



左から、唯月ふうか氏（ヨル）、森崎ウィン氏（ロイド）、鈴木祐樹氏（ロイド）佐々木美玲氏（ヨル）



（上図出典）遠藤達哉『SPY×FAMILY』(7), 集英社, 2021 <請求記号 Y84-M33282>



朝夏まなと氏によるシルヴィア・シャーウッド（西国の情報機関の管理官）

元宝塚歌劇団宙組トップスターの朝夏氏は、「鋼鉄の淑女」を強く美しく美しく演じた。「極秘稽古場メモ」には「自主練」に励む朝夏氏の様子も収められ、華やかな姿は努力に裏打ちされていることが示唆されている。

とから、「2.5次元（舞台、ミュージカル）」と呼ばれることがある。ロイド（登場人物については4頁『SPY×FAMILY』基礎の基礎）参照）を演じた鈴木祐樹氏が過去に述べた「どこまで3次元に寄せるべきか、2次元の要素を残すべきなのかというバランスについても悩みます」（『美術手帖』2016年7月号）という言葉は、2次元原作特有の難しさや面白さを示唆している。純粹な2次元の「再現」と同義ではない、特有の「完成度」が求められる世界であるといえよう。

G2氏も、本書の挨拶文で、「計算し尽くされた完成度の高い構成やセリフゆえに、「原作」に手を加え舞台空間へと修正することがなかなか難し」（「」内は引用者補記）く、「原作のテキストをほとんど変更することなく、しかも家族というミニマムの世界を帝国劇場という大空間でミュージカルとして成立させる」（ことは「かなりの至難の業」だとしている。

原理的な困難を伴いながらも、ミュージカル『SPY×FAMILY』は、2023年の国内の演劇活動の記録をまとめた『演劇年鑑2024』（日本演劇協会監修発行）において漫画原作舞台で唯一「2023年話題の舞台」として巻頭で紹介されたように、近年の漫画原作舞台を代表する作品に仕上がった。

ここで、本書を通して、演劇作品のプログ



瀧澤翼氏によるユーリ・ブライア（ヨルの弟）

瀧澤氏は、姉ヨルの前ではデレデレする愛らしさと姉の暮らす東国を守るためならば残虐な行為も躊躇しない狂気とが共存する人格を見事に演じた。原作の「推し」はユーリだと公演最終日に語った瀧澤氏は、ユーリよりユーリだったかもしれない。他の出演者や制作関係者にもキャラクターや原作へのオマージュがあったと考えられる。そういった思いの一端をも本書は垣間見せる。



(上図出典) 遠藤達哉『SPY×FAMILY』(1), 集英社, 2019 <請求記号 Y84-M8230>



(上図出典) 遠藤達哉『SPY×FAMILY』(2), 集英社, 2019 <請求記号 Y84-M11980>



鈴木壮麻氏によるヘンリー・ヘンダーソン（イーデン校のベテラン教員）

鈴木氏は、劇団四季出身の経験豊富な俳優で、厳格ながらもコミカルな先生を「エレガント」に演じた。鈴木氏が本書に寄せた「素の自分は多分、[エレガントとは]真逆。だからこそせめて舞台上だけは『落ち着いて気品のあるさま』を心がけたいと思う」([]内は引用者補記)との言は、役作りの妙を感じさせる。

ユーリは、姉を含め周囲には身分を偽っているが、東国の秘密警察の一員であり、スパイ等を取り締まる立場にある。

ラムから読者（観客）が享受し得る効用について少し考えてみたい。

巧みに紹介された物語のあらすじは観劇の期待を高め、作品理解の一助ともなる。また、楽曲の歌詞は観劇後の理解の深化にもつながると考えられる。文字情報としての歌詞は、音声情報としての受容とは異なった理解や解釈をもたらし得る。

本書には、出演者や制作関係者のプロフィールやコメント、稽古場を多数の写真で紹介した「極秘稽古場メモ」が掲載されている。こうした内容を通して、読者は、関わった人々の「思い」を感じたり、「舞台裏」を想像したりすることができる。

衣装やヘアメイク等を含む総合芸術的な「役作り」の成果が衣装写真として固定されることも、プログラムの重要な機能の一つである。本稿執筆中の2024年10月、ミュージカル『SPY×FAMILY』の2025年の再演が発表され、配役の一部変更に伴い、公式ウェブサイトで旧出演者の写真等が閲覧できなくなった。旧情報を変わず参照できるプログラムの価値が、再演により図らずも裏付けられたといえよう。

プログラムからは観劇体験を思い起こすこともできる。衣装写真は演技を、楽曲の歌詞は歌唱や演奏を読者に想起させよう。実際、

『SPY×FAMILY』基礎の基礎

主な舞台である架空の国オスタニア（「東国」）と西隣のウェスタリス（「西国」）とは緊張関係にある。

西国の情報機関の敏腕エージェント〈黄昏〉は、東国の大物政治家に接触するためその子息が通う名門イーデン校に子どもを入学させ懇親会に潜入せよ、との命を受ける。ロイド・フォージャーと名乗ることになった〈黄昏〉が孤児院から少女アーニャを引き取り、物語の核となる「家族」が始まる。アーニャは他人の心が読める超能力者で、ロイドをスパイと見抜いていたが、敢えて引き取られるよう振舞った。

入学試験には父母参加必須の面接があり、ロイドには「妻」が必要となった。ロイドが偶然知り合ったヨル・ブライアは、独身であることを周囲から奇異や心配の目で見られており、二人は利害が一致、「結婚」を選ぶ。ただし、ヨルはロイドの正体を知らず、アーニャをロイドの妻の娘と信じている。他方ヨルにも、国家に好ましくない人物の暗殺を請け負う殺し屋だという秘密がある。

父はスパイ、娘は超能力者、母は殺し屋というフォージャー家に加え、強烈なキャラクターが多く登場し、物語は展開される。



超能力でロイドとヨルの素性を知るアーニャは、「すばい」と「ころしや」に「わくわくっ」している。
(出典) 遠藤達哉『SPY×FAMILY』(1), 集英社, 2019 <請求記号 Y84-M8230>

執筆に際し久しぶりに歌詞を読んだ筆者（筆者は東京公演と福岡公演（最終日）を観劇した。）は当該楽曲の場面を鮮明に思い出すことができた。

こうした効用は、プログラムと同様、基本的には観劇を前提とするものではあるが、一部は、プログラムを読むだけでも「疑似体験」的に享受され得る。すなわち、未観劇の読者でも、プログラムを通して、作品世界に思いを馳せたり、出演者への関心を深めたりといった、観客たる読者の体験に準じた経験ができる。さらに、演劇作品の一部は「円盤化」や映像配信されるため、公演期間後に初めて「観劇」し、プログラムを読むということも可能である。

本書やその前提であるミュージカルに実際に接した者の体験を本稿だけで読者諸氏に十全に疑似体験していただくのは困難ではあるが、本稿で紹介した扮装写真や情報等によって少しでも何かを感受していただけるとすれば幸いである。

読者諸氏には、機会があれば、原作等に加えて本書を手に取り、『SPY×FAMILY』の多角的展開を（疑似）体験していただきたい。

※本稿への画像掲載に関して東宝株式会社及び株式会社集英社のご協力を得た。

世界に向けて開いた窓



当館内の集配センターには毎朝洋新聞がたくさん届きます。ここではタイトルごとに並び替え、納品書と突き合わせてチェックしています。



当館はわが国唯一の納本図書館として、日本国内で刊行された出版物を網羅的に収集しています。では、国立国会図書館には日本国内の本しかないの？——いいえ、そうではありません。当館は外国の出版物についても選択的に収集しています。

外国の出版者は出版物を納本する義務を負いませんから、外国の出版物は海外の他機関との交換や、購入によって入手する必要があります。そこで、外国資料課購入係では、購入による外国資料の入手を担当しています。

ところで、さいきん海外、とくに英語圏で日本文学ブームが起きているという話題をよく見かけます。日本文学といっても漱石や芥川、太宰ではなく、村田沙耶香や柚木麻子といった現代の女性作家が人気を博しているのだそうです。

当館では、外国で翻訳書が刊行された日本人著者の本を重点的に収集しています。そういうわけで、購入係には外国の言語に翻訳された日本の小説が多く届きます。それらのタイトルを眺めていると、たしかに現代の女性作家のタイトルも多いのですが、それ以外にもブラジルでポルトガル語

訳された島田荘司や、ロシア語訳された伊藤計劃なんてものもありました。ライトノベルやなるう系小説も精力的に紹介されているようですし、さきに「漱石や芥川、太宰ではなく」と書きました。こうした古典の文豪もさまざまな言語に翻訳されています。いろいろな時代、いろいろなジャンルの日本文学が翻訳されていて、こうした裾野の広い翻訳活動がやがてブームにつながっていくのでしょうか。

さて、当館では外国の図書だけではなく、雑誌や新聞などの逐次刊行物についても収集しています。じつは、「英語圏での日本文学ブーム」というニュースを知ったのも、届いた英字新聞の状態を確認しているとき、ぐうぜん日本文学ブームを特集した記事の見出しが目に入ったからなのです。日々届く図書や新聞の量はとても多く、ひとつひとつにじっくり目を通すことはできませんが、タイトルや見出しを眺めるだけでも、外国でなにが起こっているのか、なにが流行っているのか、その一端を肌で感じることが出来ます。この仕事をしていくなかでの楽しみのひとつです。

(外国資料課購入係 アゾート)

日本でいちばん大きな図書館を探検しよう！

令和7年度こども霞が関見学デー

2025年8月6日・7日に「こども 霞が関見学デー」が全国各地で開催されました。国立国会図書館では、抽選で当選した小中学生を対象に、この図書館ならではのプログラムを東京本館で実施しました。当日の様子をご紹介します。

各日のプログラム

8月6日（水）	8月7日（木）
国立国会図書館はどんなところかな？	
地下8階まである書庫を見てみよう！	
電子展示会を使ってみよう！	「本の病院」を見てみよう！
館長とお話しよう！	

こども霞が関見学デーとは？

各府省庁等が連携し、所管する業務の説明や展示等を行うことで、子どもたちが夏休みに広く社会を知る機会を提供する取り組みです。各府省庁等の特色を生かし、オンライン形式を含め、全国各地でさまざまなプログラムが実施されます。国立国会図書館は、平成12年度からこの取り組みに参加しています。

国立国会図書館はどんなところかな？

まずは「国立国会図書館にはどんな役割がある？」といった簡単なクイズに答えてもらいながら、職員が国立国会図書館について紹介しました。



質問に元気よく手が挙がりました。

地下8階まである書庫を見てみよう！

東京本館には、本館と新館の2つの建物にそれぞれ書庫があります。資料をよりよい状態に保つため、通常、書庫には職員しか入ることができません。参加者の皆さんには、新館の地下にある書庫を特別に見学してもらいました。

資料がどのように保存されているか、職員は日々どのようなことに気をつけているかといった説明を聞きながら、雑誌や新聞がずらりと並んだ書架をのぞいたり、自然光が差し込む地下8階から天窓を見上げたりしました。普段目にするものがない景色の数々に、子どもだけでなく大人からもたびたび感嘆の声があがっていました。



深さ約30メートルの吹き抜けの最下層（地下8階）から見上げています。



普段は見られない明治期の古い新聞に興味津々です。（見学用に特別に用意したもので、通常の閲覧はマイクロフィルムで提供しています。）



見渡す限り雑誌がずらりと並んでいます。

電子展示会を使ってみよう！

初日の日替わりプログラムは、「NDL イメージバンク」等の画像を使って、手のひらサイズのミニ絵巻づくりにチャレンジするものでした。「NDL イメージバンク」は、国立国会図書館が所蔵する浮世絵、本、雑誌などに載った、選りすぐりのビジュアル資料を紹介する電子展示会です。その中に掲載されているものは全て著作権保護期間が満了しているので、自由にご利用いただけます。絵巻の表紙には、「NDL イメージバンク」の中からあらかじめ職員がピックアップしておいたさまざまな画像を使い、子どもたちにそれぞれ気に入った柄を選んでもらいました。

今回子どもたちが巻いたのは、さまざまな鬼や妖怪が行進する、日本で最も有名な妖怪絵巻の一つ「百鬼夜行絵巻」(〔江戸中期〕写, <https://dl.ndl.go.jp/pid/2540972>) です。

今回は、全長 9m 以上ある絵巻を縮小した、ミニ絵巻を用意しました。ミニといっても全長は 2.6 m あるため、本紙を巻いていく作業に最初は少し苦戦している姿も見られましたが、最後は全員、軸棒にくるくると上手に本紙を巻きつけることができました。巻緒(巻物を巻き止める紐)を取り付け、題箋(だいせん：タイトルが書かれた紙)を貼り、無事完成！皆さん、オリジナルのミニ絵巻を嬉しそうに見せてくれました。



絵巻の表紙の柄を選んでいます。



全長 2.6m、長いです。



集中しています……



完成！

「本の病院」を見てみよう！

2日目の日替わりプログラムは、劣化・破損した資料の修復や保存の現場、「本の病院」こと収集書誌部資料保存課事務室の見学でした。集めた資料を長く保存し、次の世代へと伝えていくことは、国立国会図書館の基本的かつ大切な役割の一つです。資料保存課は、その大切な役割を担っており、資料をよりよい状態で残せるよう、日々コツコツと作業に取り組んでいます。

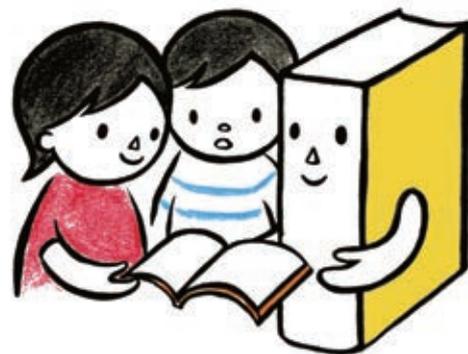
「本の病院」では、資料の補修作業を間近で見ながら綴じ方の違いや必要な道具の説明を受けたり、和紙と洋紙をちぎり比べてみたり、実際に紐を使った中綴じ（用紙を重ねて中心から二つ折りにして、折り目部分を針金や糸で綴じる製本方法）に挑戦したりと、資料保存の奥深い世界に大人も子どももこぞって興味津々でした。



さまざまな資料の保存・修復方法について真剣に説明を聞いています。



紐を使って中綴じに挑戦中です。



館長とお話ししよう！

最後は倉田敬子館長とお話タイムです。「館長って普段どんなことをしているの？」「館長の好きな漫画は？」「この図書館で一番古い資料は？」など、子どもたちから次から次へと寄せられる質問に、倉田館長が一つずつ丁寧に答えていきました。終了後、子どもたちからは「普段なかなか会えない館長に直接質問できてよかった！」と満足そうな表情が伺えました。



沢山の質問が倉田館長に寄せられました。

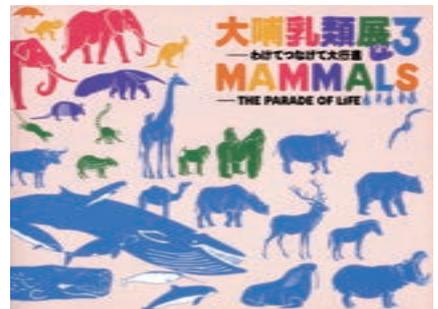
まとめ

参加者の皆さんからは「図書館のことをくわしく知ることができた。わくわくするものが沢山あった。」「普段入ることのできないところに入れたのが思い出に残った。」「親子ともども貴重な体験ができてよかった。」といった声が聞かれました。子どもたちの真剣に聞き入る姿や新鮮な反応を目にし、私たち職員も自分たちの日々の取組を振り返るよい機会となりました。子どもたちにとって、この見学デーが夏休みの特別な一日となり、国立国会図書館をより身近に感じてもらえるきっかけとなったならばにによりです。

(総務部総務課広報係)



本屋に ない本



『大哺乳類展3』
朝日新聞社編・刊 2024
238 p ; 19 × 26 cm
<請求記号 RA571-R35>

——突然ですがクイズです。度々ニュースに登場するクマはイヌの仲間、百獣の王であるライオンはネコの仲間、では水族館のアイドル、アザラシはイヌとネコ、どちらの仲間でしょうか？

地球上に存在する様々な生物を特徴ごとにグループ分けすることを「分類」、それらのグループの関係を調べて特定された進化の順序等を「系統」と呼ぶ。本書は、2024年に国立科学博物館で哺乳類の「分類」と「系統」をテーマに開催された展覧会第3弾の図録である。

そもそも哺乳類とはどんな生物か。第1章では、哺乳類最大の特徴である「哺乳」をはじめ、胎生や3つの耳小骨(鼓膜に伝わった振動を耳の奥に伝

える働きをする骨)といった哺乳類に共通する特徴を解説している。哺乳という行為は長い進化の過程でメスしか獲得できず、また、哺乳類が地上のあらゆる場所で繁栄することに成功した最大の鍵はメスの体内に胎盤を有したことにあるようだ。そのほか、耳小骨は哺乳類の祖先の顎関節であったなどの点も興味深い。

第2章では、生物学の基礎に立ち、「種」、「分類」、「系統」について分かりやすく解説している。一般的に、自然状態で永続的に交配が可能な集団のことを「種」と定義している。例えば、かつてライオンとヒョウから雑種の子であるレオポンが生まれたが、レオポンには繁殖力がなかった。つまり、ライオンとヒョウは別種であると分か

る。ならば、交配実験で繁殖させてみれば全ての種が判別できるかということ、そう簡単ではない。鯨類のような大型動物は実現不可能だし、モグラ類のように飼育下で繁殖に成功したことがない動物もある。そこで、外見、骨格、内臓、DNAといった特徴を調べて「分類」し、「系統」を特定することで種を判別することができる。

こうした第2章までの基礎知識を経て第3章を読むと、非常に多様な哺乳類の分類と系統がぐっと鮮明に理解できるだろう。第3章では、哺乳類を目的とする(哺乳類の一つ下の分類群)ごとに、その特徴を豊富な写真とともに紹介している。ここでは、私たち霊長目に関する特徴を一つ紹介したい。実は、私たちの平たい爪は哺乳類で霊長目だけ

が持つ特徴である。哺乳類の祖先はイヌやネコのような鉤爪であった。ここから、高速走行に適應した一部の動物(ウマなどの奇蹄目やシカなどの反芻垂目等)は丈夫な蹄を持つようになり、指先を繊細に使う霊長目は指を上から覆う硬くて平らな平爪に進化したのである。

最後の第4章では、哺乳類分類学の歴史と展望を解説している。技術が発達し研究が進展しても、未だ多くの課題が残されている。第4章は今後の哺乳類分類学がどう進展するかを示唆している。

さて、冒頭のクイズの答えは本書の中にある。ぜひ魅力的な動物たちの写真や知識を楽しみながら探してみよう。

(猪野千尋)

国立国会図書館は、法律によって定められた納本制度により、日本国内の出版物を広く収集しています。このコーナーでは、主として取次店を通さない国内出版物を取り上げて、ご紹介いたします。



子どもの読書と学習に役立つ オンラインコンテンツ

しらべる・まなぶ・よむ 小学生
調べる・学ぶ・読む 中高生



国立国会図書館国際子ども図書館は2024年3月12日に子どもの読書や学習に役立つオンラインコンテンツ「しらべる・まなぶ・よむ」(小学生向け)と「調べる・学ぶ・読む」(中高生向け)を公開しました。子どもたちを読書やオンライン学習にいざなうことを目指したインターネット上のコンテンツで、公開以降も随時情報を追加していきます。

国際子ども図書館の子ども向けオンラインコンテンツとしては、「国際子ども図書館子どもOPAC」(2012年公開)や「中高生のための幕末・明治の日本の歴史事典」(2014年公開)などが既にあるましたが、その後もコンテンツのあり方について、検討を重ねてきました。専門家の助力を得てICT教育の動向調査、コンテンツ提供機関へのアンケートを行い、海外の動向にも目配りした『読書・学習支援コンテンツ構築及び利活用に関する調査研究』(国際子ども図書館調査研究シリーズ)を2019年に刊行したこともその一つです。

2019年に文部科学省によって学校のICT環境を整備する「GIGAスクール構想」が掲げられたり、コロナ禍により学校でオンライン授業が行われたりしたことによって、読書・学習環境のオンライン化が進んできています。

もちろん、読書であれ、調べものであれ、オンライン上のみで完結するわけではありません。

しらべる・まなぶ・よむ 小学生
<https://www.kodomo.go.jp/guide/kids/>



調べる・学ぶ・読む 中高生
<https://www.kodomo.go.jp/guide/ya/>



～ 「しらべる・まなぶ・よむ 小学生」と「調べる・学ぶ・読む 中高生」の収録対象～

内容	しらべる・まなぶ・よむ 小学生	調べる・学ぶ・読む 中高生
A しらべもの／調べもの	✓	✓
B よんでみる？／読んでみる？	✓ ¹⁾	✓
C 科学のまど	✓	
D 本で巡る世界の国々		✓
E 本で調べる東京名所		✓
F 中高生のための幕末・明治の日本の歴史事典		✓ ²⁾

1) 旧キッズページで公開したものをこのコンテンツに統合。
 2) 2014年に公開したものをこのコンテンツに統合。

せん。小学生向けの「しらべる・まなぶ・よむ」では、国際子ども図書館の「子どものへや」にある本の中から、小学生が楽しく調べることができる本を選んで紹介しています。また、ブックトーク動画では、恐竜や星といった科学分野の本をとりあげています。中高生向けの「調べる・学ぶ・読む」では国際子ども図書館の「調べものの部屋」にある本の小展示の成果も活用し、実際に本を手にすることもつながるよう工夫されています。

年齢を追うごとに行動範囲が広がり、アクセスできる情報源が多様化することで、否応なく情報の取捨選択の必要性は高まります。中高生向けの「調べる・学ぶ・読む」では、情報の大海のなかで能率よく調べものが進められるように、図書館の利用方法だけでなく、信頼できる情報源を選ぶ方法、本の目次を調べる方法、インターネット上で図書館の本を読む方法などについても、順を追って紹介しています。

その他、ヨーロッパ、中東などの世界各地の児童書を紹介するコンテンツ、東京名所を様々な資料からたどって校外学習などにも役立てられるコンテンツ、幕末・明治の日本の歴史に関するコンテンツなどもあり、読み物として眺めているだけでも、自然にさまざまな文献や検索ツールに触れられるようになっています。

*全コンテンツがスマートフォンやタブレットでも利用できます。

しらべもの

小学生が調べものをするとき、知っておくとよいことを紹介しています。「1 どんなことを調べるか「テーマ」を決めよう」「2 どうやって調べるか決めよう」といったように、順を追って図書館の活用や調べもののコツについて学べるようになっています。

2 どうやって調べるか決めよう

調べる方法

調べるための本を知ろう	図書館へ行こう
<ul style="list-style-type: none"> ① 調べるための本のしりょうかい ② 百科事典(ひゃっかじてん)の使いかた ③ 「もくじ」と「さくいん」 ④ 引用(いんよう)のしかたについて ⑤ 本のしりょうほうをまきろくしておこう 	<ul style="list-style-type: none"> ① 図書館の種類(しゅるい) ② 本の分類(ぶんるい) ③ 本のならびかた <li style="border: 1px solid red; border-radius: 5px; padding: 2px;">④ 本だなに持ってみよう
	<p style="background-color: #0056b3; color: white; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">もっと図書館を使いこなしたい人へ</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 図書館に本があるかどうかさがす <ul style="list-style-type: none"> ▶ 目録(もくろく)ってなんだろう ▶ 目録をひいてみよう ② 「回覧子ども図書館子どもOPAC」でけんさくする <ul style="list-style-type: none"> ▶ 思いついた言葉、本の名前、書いた人の名前 でけんさくする ▶ 本のけん名(テーマ)でけんさくする ③ 地いきの図書館にある本をさがす ④ インターネットで図書館の本を読む

博物館や美術館で調べる
>

インターネットで調べる
>

インタビューする
>



▲図書館の本だなの中の本の並び方について紹介しています。

どうやって調べるか決めよう>調べる方法>本で調べる>図書館へ行こう>本だなに持ってみよう

インタビューする

「インタビュー」は、何かを調べるために人に会って話を聞くことです。本で調べるのがむずかしい時や、より具体的(くわいてき)な仕事の内容(ないよう)などを調べる時は、じっさいにやっている人に話を聞くことは、とても重要(じゅうよう)です。

インタビューをする時は、相手の人のさちょうな時間をいただくため、相手のめいわくにならないように、かならず事前にじゅんぴをしましょう。たとえば、次のようなことが大切です。



インタビューする前にやっておくとよいこと

- >
 どんなことを聞きたいのか、調べて、相手の人にしつもんする内容をまとめておく。
- >
 インタビューする相手の人にれんらくして、日時(じつ)のやくそくをする。

「2 どうやって調べるか決めよう」では、本の調べものだけでなく、便利なインターネットサイトの使い方や、インタビューの方法など、さまざまな調べものについて紹介しています。

例えば、「インタビューする」では、インタビュー前に質問する内容をまとめておくこと、インタビュー当日はしっかりメモをとること、後日、お礼の手紙を出すなど良いことなども分かります。

科学のまど

科学に親しむことのできる本を紹介しています。1つのテーマに沿って複数の本を紹介するブックトークの動画もあります。

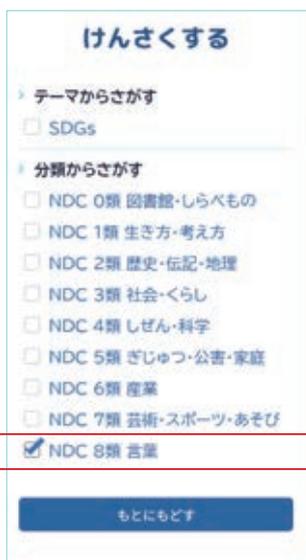


▲「星」についての本を紹介したコーナー

◀ブックトーク「きょうりゅうの本」と、令和7（2025）年2月に新たに仲間入りしたブックトーク「星の本～夜空を見上げて」。「もっといろいろ読みたい人に」では、ブックトークで紹介していない本もとりあげています。

よんでみる？

小学生が、楽しく調べものができるような本を紹介しています。「産業」、「芸術・スポーツ・あそび」、「言葉」など、分類から本を探せます。タイトルをクリックすると、1冊1冊の本の紹介文も見ることができ、本を選ぶ上での手がかりが得られます。



▲「分類からさがす」で「NDC 8類 言葉」という分類にチェックを入れると、「言葉」にかかわる本が出てきます。



調べもの

中学生・高校生が調べものをする時、知っておくとよいことを紹介しています。

図書館を利用する

ここでは、図書館を使いこなして調べものに役立てるためのコツを紹介します。

いろいろな図書館		図書館の本はどのように並んでいるか(分類・排架・目録)	
国立国会図書館の本を検索する(国立国会図書館サーチ)		複数の図書館の本をまとめて検索する(組合目録)	
インターネット上で図書館の本を読む(電子図書館)		図書館のデータベースを利用する	
冊書に相談する(レファレンス)			

◀図書館は本を読むだけの場所ではなく、さまざまなツールを使って調べものができる場所です。オンラインのツールについても紹介しています。

調べものをする

ここでは、学校の宿題や調べものをする時の、テーマの選び方、調べ方、調べた情報のまとめ方を紹介します。

テーマを選ぶ		情報源を選ぶ	
調べ方を選ぶ		本で調べる	
雑誌・新聞で調べる		インターネットで調べる	

◀調べた情報をレポートなどにまとめるためには、テーマ選びや信頼できそうな情報源の選択など、さまざまなプロセスがあります。図書館ならではのノウハウにもふれながら、調べものの手順を解説しています。



読んでみる？

国際子ども図書館にある中学生・高校生向けの資料室「調べものの部屋」の本を、テーマごとにさまざまな視点から紹介しています。



▲「テーマを選ぶ」の五十音の行のボタンをクリックすることでテーマを一覧できます。(たとえば「ことば」の場合「か行」の一覧に現れます)。「建築」「狐」など多彩なテーマがあります。また、「SDGs」では、SDGs全般とその17のゴールに関する資料を紹介しています。



心に響くことば

素晴らしいことばは、人々に元気や勇気を与え、生きる希望や将来の夢につなげます。そんなことばにたくさん出会えます。



世界の名言大辞典：英語でわかる777のことば

弓野匡純 著(くもん出版、2014)[159.8]

スポーツでよくつかわれる「One for all, and all for one」(一人はみんなのために、みんなは一人のために)など私たちがよく知っている名言とそれがどのような状況で語られたのか元の文章を知ることができます。

NDLサーチ
カーリル



希望の一滴：中村哲、アフガン最期の言葉

中村哲 著(西日本新聞社、2020)[292.71]

戦争や干ばつに苦しむアフガニスタンで、長年人道支援活動に取り組んだ医師中村哲。2019年12月にアフガニスタンで凶弾に倒れた彼の活動のことばとともに振り返ります。人々の助けになるのは、治療よりも水と食料だと訴え、その後、1,600本の井戸を掘り5万人の命を支える用水路を建設しました。

NDLサーチ
カーリル

ことばを操る

ことばを使う職業は、たくさんあります。その中でアナウンサーという仕事に焦点をあてています。



アナウンサーになろう！：愛される話し方入門

堀江美 著(PHP研究所、2014)[699.3]

アナウンサーは、ことばを巧みに操り、私たちに必要な情報を伝達してくれます。よい話し方身に習け、自分を磨くことは、アナウンサーのみならず、だれにとっても自分のプラスになります。

NDLサーチ
カーリル

ことばを味わう

日本の四季を彩る多彩な色の表現と三十一文字に真意を込めた短歌の世界で日本語の醍醐味を感じてみましょう。日本語の美しさや奥深さが再認識できます。



色の日本語いろいろ辞典：コトバにも色がある！

加藤油男 編著(日本地域社会研究所、2009)[757.3]

日本の四季を彩る多彩な色は、日本語だからこそ表現できる色がたくさんあります。古典文学の色は豊かなことばによって表現されています。美しい日本の色の世界を堪能しましょう。

NDLサーチ
カーリル

▲たとえば「ことば」というテーマを選ぶと、「心に響くことば」「ことばを操る」といったさまざまなサブテーマに分かれ、各テーマに関係する本の内容が紹介されています。国立国会図書館の蔵書検索サイトである国立国会図書館サーチ(NDLサーチ)や公共図書館等の所蔵状況が分かるサイトである「カーリル」へのリンクもはられています。

本で調べる東京名所

国立国会図書館が所蔵する古い絵や地図など、オンラインで利用できるデジタル化資料を用いながら、東京の名所の歴史を紹介しています。修学旅行や校外学習の事前準備にも活用できます。



◀トップページのスライドショーでは名所の画像が切り替わります。
左の写真は上野の名所の一つ「上野動物園」の象
『東京風景』小川一真出版部、1911
<https://dl.ndl.go.jp/pid/764167/1/51>

上野編

◆コース紹介

- 江戸時代コース
- 明治・大正時代コース

◆上野の名所

- 東叡山寛永寺
- 旧因州池田屋敷表門（黒門）
- 上野東照宮
- 不忍池
- 彰義隊の墓
- 上野広小路
- 上野駅
- 上野公園
- 東京国立博物館
- 上野動物園

◆上野を知る本

◆ワークシート

- クイズワークシート
- 発見メモワークシート

永田町・霞が関編

◆コース紹介

- 近代化と緑の散策コース

◆永田町・霞が関の名所

- 最高裁判所
- 国会議事堂周辺
- 日本水準原点
- 江戸城（皇居）
- 旧第一生命館周辺
- 日比谷公園
- 霞が関

◆さらに知りたい人へ

◆ワークシート

- クイズワークシート
- 発見メモワークシート



▲上野の名所「上野広小路」の浮世絵
広重「下谷広小路」『名所江戸百景』魚栄、1856（安政3）
<https://dl.ndl.go.jp/pid/1312249/1/1>



▲永田町・霞が関の名所「日比谷公園」（音楽堂）の写真
『最新東京名所写真帖』小島又市、1909
<https://dl.ndl.go.jp/pid/763843/1/6>

「上野編」には「江戸時代コース」と「明治・大正時代コース」があります。
 コースに沿ってサイト内を巡ることで、各名所の歴史と現在のみどころを知ることができます。



「永田町・霞が関編」には「近代化と緑の散策コース」があります。



▲「近代化と緑の散策コース」のクイズ形式のワークシート。

◀地図と空中写真を切り替えたり、時期の違う地図を複数枚重ね合わせたりすることで、各名所の位置を確認したり、その移り変わりに思いをはせることもできます。

本で巡る世界の国々

世界のさまざまな国・地域に関する翻訳作品を、もとの言語で書かれた版や英語版と一緒に紹介しています。サイト内にある世界地図の気になる場所を選択すると、その地域の作品が表示され、その中にはインターネット上で公開されている作品もあります。

中高生のための幕末・明治の日本の歴史事典

国立国会図書館が所蔵する史料を用いて、幕末・明治の歴史を紹介しています。

(文責：本誌編集担当)

国立国会図書館 キッズページ

「国立国会図書館キッズページ」は、国立国会図書館東京本館、関西館、国際子ども図書館の歴史や役割、仕事の内容などを小学生向けに分かりやすく紹介したページです。
スマートフォンでもご覧いただけます。



国立国会図書館キッズページ <https://www.kodomo.go.jp/kids/index.html>



国立国会図書館を知ろう

- * 国立国会図書館ってなんだろう
館長のあいさつ／はじめに／れきし／豆ちしき
- * 国立国会図書館のしごと
国会のお手つだい／集める／ほぞんする
／調べもののお手つだい／しょくばほうもん
- * 国立国会図書館の見学について



国際子ども図書館を知ろう

- * 国際子ども図書館ってなんだろう
館長のあいさつ／はじめに／れきし／豆ちしき
- * 国際子ども図書館のしごと
子どもに本を手わたす／調べもののお手つだい
／ほぞんする／てんじする／図書館員の1日
- * 国際子ども図書館の利用のしかた
利用案内（あんない）／おはなし会／見学

午前9時 てんじする本を準備(じゅんび)します
レンガ棟(とう)3階にある「本のミュージアム」では、年に数回、子どもの本にかんするてんじ会を開いています。国際子ども図書館が持っている本、絵本や雑誌(ざっし)の中から、てんじのテーマにふさわしい本をえらびます。えらんだ本は前の日までにブックトラックに用意しておき、当日も確認(かくにん)して、てんじする会場に通びます。

午前10時 パネルを用意します
本をてんじするほかに、本の解説(かいせつ)や作家の年表などのパネルを作って、てんじケースの近くにかけます。てんじを見るときに役立ちます。

キッズページでは、色々な「しごと」も紹介されています。

◀ 「図書館員の1日」より。
国際子ども図書館の「本のミュージアム」での準備の様子が分かります。
(てんじを通して、子どもの本のみりよくをつたえる仕事です【資料情報課(しりょうじょうほうか)】)

(文責：本誌編集担当)

令和7年度東日本大震災アーカイブシンポジウム「震災アーカイブの構築・継続・次世代への継承」

国立国会図書館と東北大学災害科学国際研究所は、令和8年1月11日に「東日本大震災アーカイブシンポジウム」を開催いたします。

令和8年は東日本大震災（平成23年）から15年、熊本地震（平成28年）から10年の節目を迎えます。この間、国内外の様々な機関がそれぞれの強みを生かした特色ある震災アーカイブを構築し、継続的に運営してきました。教育現場での継続的な活用事例も生まれるなど、これらの取組は、震災の記録・記憶の次世代への継承に重要な役割を果たしています。

本シンポジウムでは特別講演として、米・ハーバード大学アンドルー・ゴードン教授から、同学の「日本災害DIGITALアーカイブ」や日本の震災アーカイブの取組の意義について、海外の日本研究者からの視点でお話しいただきます。続いて、熊本県、石川県の震災アーカイブのご担当者から、震災アーカイブの構築・運営の現況についてご報告いただきます。宮城県多賀城高等学校の教員及び生徒の皆様からは、同校の「災害科学科」のこれまでの歩みと現在の取組についてご紹介いただきます。最後に、今後の展望について登壇者によるパネルディスカッションを行います。

○日時

令和8年1月11日（日）13時～16時10分（開場12時30分）

○会場

東北大学災害科学国際研究所多目的ホール（宮城県仙台市）

○開催方法

現地開催のほか、事前登録者に対してオンラインで同時配信（Zoom）

○登壇者（敬称略）

アンドルー・ゴードン（米・ハーバード大学歴史学部教授、鳥井薫順（熊本県危機管理監、中塚健也（石川県戦略広報監、石山俊太（宮城県多賀城高等学校教諭、宮城県多賀城高等学校災害科学科生徒代表、小林芳幸（国立国会図書館電子情報部主任司書）、柴山明寛（東北大学災害科学国際研究所准教授）

○申込方法

「みちのく震録伝」掲載のシンポジウム案内ページ参加申込フォーム（左記QRコード）からお申し込みください。定員に達した時点で受付を終了します。



○参加費 無料

○主催 国立国会図書館・東北大学災害科学国際研究所

○後援 デジタルアーカイブ学会

○問合せ先

東北大学災害科学国際研究所 災害人文社会研究部門 災害文化アーカイブ研究分野

電話 022(752)2099

メールアドレス archivforum@irdes.tohoku.ac.jp

国立国会図書館インターネット資料収集保存事業（WARP）リニューアル

国立国会図書館では、令和7年12月17日に「国立国会図書館インターネット資料収集保存事業（WARP）」のウェブサービスのリニューアルを予定しています。リニューアル後のウェブサービスの特徴を当館ホームページに掲載していますので、ご覧ください。



リニューアル後の画面

「国立国会図書館インターネット資料収集保存事業（WARP）」ウェブサービスのリニューアル

<https://warp.da.ndl.go.jp/contents/news/2025renewal.html>

2025renewal.html



第40回納本制度審議会及び第19回納本制度審議会代償金部会

9月11日、第40回納本制度審議会及び第19回納本制度審議会代償金部会が開催されました。

審議会には委員12名が出席し、令和7年7月1日付けで、委員の委嘱及び代償金部会に所属する委員の指名が行われたことが報告され、田村善之委員が互選により会長に選出されました。田村会長は、奥邨弘司委員を会長代理に指名しました。また、事務局から、資料収集状況、有償等オンライン資料収集制度の運用状況等について報告を行いました。引き続き、事務局から、各国国立図書館におけるウェブアーカイブ事業について報告を行い、委員間で懇談が行われました。

審議会終了後に開催された代償金部会には委員5名が出席し、奥邨弘司委員が互選により部会長に選出されました。奥邨部会長は、巻美矢紀委員を部会長代理に指名しました。

納本制度審議会委員名簿

(五十音順 敬称略) (令和7年9月11日現在)

会長

田村 善之 東京大学大学院法学政治学研究所教授

会長代理

奥邨 弘司 慶應義塾大学大学院法務研究科教授

委員

伊藤 真 弁護士

江草 貞治 株式会社有斐閣代表取締役社長

大場 博幸 日本大学文理学部教育学科教授

大屋 雄裕 慶應義塾大学法学部法律学科教授

小野寺 優 一般社団法人日本書籍出版協会理事長

近藤 敏貴 一般社団法人日本出版取次協会会長

柴野 京子 上智大学文学部新聞学科教授

仲俣 暁生 大正大学表現学部表現文化学科教授／公益社団法人日本文藝家協会知的財産権委員

中村 史郎 一般社団法人日本新聞協会会長

野口 貴公美 一橋大学理事・副学長、大学院法学研究科教授

○代償金部会所属委員

奥邨弘司 (部会長)、巻美矢紀 (部会長代理)、伊藤真、

小野寺優、野口貴公美、宮原博昭、村松俊亮

巻 美矢紀 上智大学大学院法学研究科教授

宮原 博昭 一般社団法人日本雑誌協会理事長

村松 俊亮 一般社団法人日本レコード協会会長

山崎 隆広 群馬県立女子大学文学部文化情報学学科教授



納本制度審議会の様子

審議会に関する情報は、次に掲載しています。

ホーム▼資料の収集▼納本制度▼納本制度審議会

<https://www.ndl.go.jp/jp/collect/deposit/council/index.html>



NDL Topics

電子展示会「絵本ギャラリー」の終了について

平成12年度から国際子ども図書館ホームページと国際子ども図書館内の端末で公開してきました電子展示会「絵本ギャラリー」は、令和7年12月に終了します。長年にわたりご利用いただき、ありがとうございました。

○問合せ先

国際子ども図書館 資料情報課 展示係
電話 03(3827)2053 (代表)

新刊案内

レファレンス 898号

メタンハイドレート開発の経緯と課題

戦前・戦中期の帝国議会会議録に見る「憲法改正」

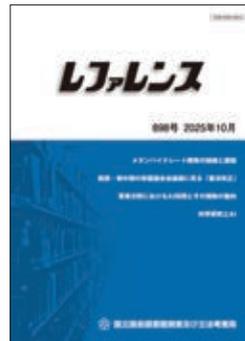
— 帝国議会会議録検索システムの検索結果から —

軍事分野におけるAI利用とその規制の動向—AI

を用いた意思決定支援システムと法的審査の適用

可能性を中心に—

科学研究とAI—サイエンスはどう変わるのか—



A4 92頁 月刊 1,100円 (税込)
発売 日本図書館協会

入手のお問い合わせ

日本図書館協会

〒104-0033 東京都中央区新川1-11-14

電話 03(3523)0812



#42

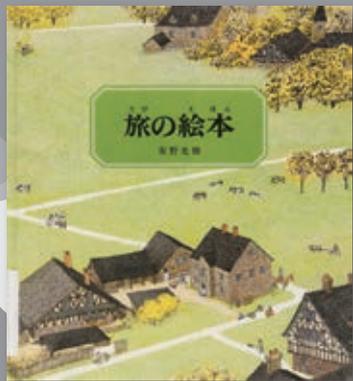
国際子ども図書館

本のミュージアム

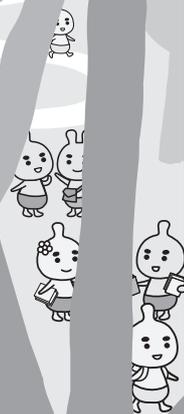
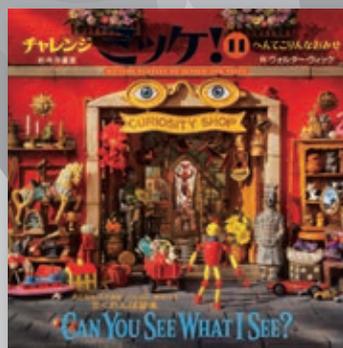
エディキュールの赤レンガ

(館内で唯一100年以上前の赤レンガを見ることができる)

ごちゃ
ごちゃ



ぎゅう
ぎゅう



展示会

絵探し絵本と なかまたち

"Search and Find Books" and Their Friends

わい
わい

わや
わや



前後期総入れ替え!

前期

2025年 10月 7日(火) ~ 12月 21日(日)

後期

2026年 1月 20日(火) ~ 4月 19日(日)

休館日 毎週月曜日、国民の祝日・休日、毎月第3水曜日(資料整理休館日)

開館時間 9時30分 ~ 17時

会場

国際子ども図書館 レンガ棟3階 本のミュージアム

左上から時計回りに、『旅の絵本』安野光雅 作 福音館書店 1977 (前期)、『チャレンジミッケ! 11 (へんてこりんなおみせ)』ウォルター・ウィック 作、糸井重里 訳 小学館 2021 (後期)、『とこちゃんはどこ』松岡享子 作、加古里子 絵 福音館書店 1970 (前期)、『パーキをさがせ!』デー・チョンキン 作・絵 徳間書店 2008 (前期)、『新ウオーリーのふしぎなたび』マーティン・ハンドフォード 作・絵、唐沢則幸 訳 フレーベル館 2000 (前期)



International Library of Children's Literature

国立国会図書館 国際子ども図書館

入場
無料

国立国会図書館月報

年間索引

一般記事

国立国会図書館デジタルコレクションがなければ書けなかった本 (濱口 桂一郎)	1	8-13
国立国会図書館デジタルコレクションの全文検索を活用しよう!	1	14-15
和辻哲郎自筆稿本の世界―「和辻倫理学」の原点をもとめて (吉村 雄太)	1	16-23
数字で見る国立国会図書館：『国立国会図書館年報 令和5年度』から	1	27-30
特別対談 季武嘉也×前田亮介 資料探索のこれまでとこれから～近現代政治史の資料をめぐる～	2	7-16
電子資料の長期保存ABC② CDの長期保存 (木下 貴文)	2	17-20
『国立国会図書館月報』読者アンケートの結果から	2	22-24
オープンサイエンスを社会につなぐために―国立国会図書館の取り組みを踏まえて	3	5-12
国立国会図書館デジタルコレクションでよみがえる帝国議会―「帝国議会資料」を大幅拡充	3	14-21
「近現代日本の議会傍聴」で国立国会図書館資料をいかに活用したか。 (末木 孝典)	3	22-29
遠隔研修を知っていますか? 国立国会図書館の研修を、いつでも、どこでも	4	6-15
令和6年度企画展示「ひろげて、まいて、あらわれる 絵巻の世界」関連講演会「絵巻鑑賞のイロハ」	4	17-26
報告 デジタルシフトの次へ―米国議会図書館の新戦略から見えてくるもの	5	5-14
国際アンデルセン賞受賞作家・画家展開連講演会―角野栄子氏・土居安子氏	5	16-17
新版、御求め御覧下さるべく候―国立国会図書館所蔵の蔦屋重三郎出版物― (石田 暁子)	6	5-21
第60回貴重書等指定委員会報告 新たな貴重書のご紹介	7/8	6-11
科学技術資料紹介 原子力設計図集 (中島 尚子)	7/8	12-16
万博の歴史をふりかえる―電子展示会「博覧会 近代技術の展示場」―	7/8	18-22
外国の法令情報を発信する雑誌『外国の立法』～その歩みとこれから～ (芦田 淳・藤原 夏人・調査企画課)	9/10	6-14
〈表紙裏反古〉になった『集古十種』―破損した表紙からみる松平定信の活動― (大沼 宜規)	9/10	15-27
憲政資料室の新規公開資料から	11	18-24
日本でいちばん大きな図書館を探検しよう! 令和7年度子ども霞が関見学デー	12	6-10
子どもの読書と学習に役立つオンラインコンテンツ―しらべる・まなぶ・よむ 小学生、調べる・学ぶ・読む 中学生―	12	12-19
国立国会図書館キッズページ	12	20

凡例

『理科年表 第一冊』―百年の歴史はじまりの一冊―	(落合翔)	1	3-7
↓ 記事タイトル	↓ 執筆者名	↓ 掲載号(月)	↓ 掲載ページ数

今月の一冊

『理科年表 第一冊』—百年の歴史 はじまりの一冊—	(落合 翔)	1	3-7
『天体旅行』—大正時代の宇宙旅行—	(鈴木 加成太)	2	1-5
メキシコからの憧憬—Hiroshigué = 廣重—	(吉井 伶奈)	3	1-4
『教草』—明治初期の物産技術を記録する木版画—	(戸鹿野 陽子)	4	1-4
合理的な生活—変わる習慣、変わらない習慣—	(伊東 祐介)	5	1-4
『新漫画の描き方』—漫画家岡本一平と民衆の時代—	(藤本 守)	6	1-4
『怪獣実見譚』『お伽テーブル』所載—恐竜を追いかけて—	(藤元 直樹)	7/8	1-5
あの人の健康法—『現代名士の養生振』—	(勝田 真紀子)	9/10	1-4
「土山蔵書目録」—江戸時代の朝廷下級役人の知的営為—	(武田 和也)	11	1-6
ミュージカル『SPY× FAMILY』—2023年公演プログラム—	(高野 雄太)	12	1-4

世界図書館紀行

ムハンマド・ビン・ラシド図書館 (U A E)	(本田 伸彰)	6	22-32
-------------------------	---------	---	-------

検印・検印紙
コレクション

第一回 奥付を彩る動物たち	(増田 玲)	5	18-22
第二回 著者自身の言葉にみる検印	(前田 さらら)	9/10	28-33

国立国会図書館の
ウラ側

第1回 ギャラリー展示のできるまで		11	8-16
-------------------	--	----	------





本屋にない本

『おいしい浮世絵展 北斎 広重 国芳たちが描いた江戸の味わい』	(和多 もなみ)	1	25
『インキュブラの時代 慶應義塾の西洋初期印刷本コレクションとその広がり 第30回慶應義塾図書館貴重書展示会』	(小川 結衣)	2	21
『子ども/おもちゃの博覧会 特別展』	(増田 玲)	3	30
『東京国立博物館の模写・模造 草創期の展示と研究 創立一五〇年記念特集』	(吉岡 歩)	4	16
『「江戸名所図屏風」と都市の華やぎ』	(高石 京花)	5	23
『特別展 ほろよい・ひょうご 酒と人の文化史』	(治田 洋佑)	6	34
『竹久夢二の美人画とモダンデザイン— 美しいもの・可愛いもの—』	(毛利 友暉)	7/8	23
『馬車道 150周年記念誌』	(横田 結莉奈)	9/10	34
『明治東京の書生社会 鈴木鹿之介在京日記の世界』	(大沼 宜規)	11	17
『大哺乳類展3』	(猪野 千尋)	12	11

館内スコープ

オリジナルのカードをどうぞ	1	24
あらゆる人のために	2	6
100年後も読みたいんです	3	13
研修係のひそかな楽しみ	4	5
校正を通して広がる世界	5	15
デジタル化のその先は？	6	33
匠の蝶々結びを目指して	7/8	17
一難(問) 去ってまた一難(問)	9/10	5
雑誌書庫へようこそ！	11	7
世界に向けて開いた窓	12	5

国立国会図書館 月報

765号 2025年1月

国立国会図書館 月報

766号 2025年2月

国立国会図書館 月報

767号 2025年3月

国立国会図書館 月報

768号 2025年4月

国立国会図書館 月報

769号 2025年5月

国立国会図書館 月報

770号 2025年6月

国立国会図書館 月報

771/772号 2025年7/8月

国立国会図書館 月報

773/774号 2025年9/10月

国立国会図書館 月報

775号 2025年11月

国立国会図書館 月報

776号 2025年12月

当館ホームページから、PDF ファイルを閲覧できます。

<https://www.ndl.go.jp/jp/publication/geppo/>



冊子版のご購入については、公益社団法人日本図書館協会へお問い合わせください。バックナンバーも取り扱っています。
〒104-0033 東京都中央区新川1-11-14 電話 03(3523)0812(販売)

12

NATIONAL
D I E T
LIBRARY
MONTHLY
BULLETIN
2025.12

NO.776

DECEMBER
2025

CONTENTS

- 01 <Book of the month - from NDL collections>
Musical SPY×FAMILY: 2023 Performance Program
- 06 Exploring the biggest library in Japan!
Children's Day for Visiting Kasumigaseki
- 12 Online content for encouraging students to read and study
Explore, Learn, and Read: A Guide for Kids
Explore, Learn, and Read: A Guide for Teens
- 20 National Diet Library Website for Kids
- 05 <Tidbits of information on NDL>
Opening a window to the world: Acquiring foreign publications
- 11 <Books not commercially available>
Daihonyuruiten = Mammals. 3
- 21 <NDL Topics>
- 25 Annual index to the National Diet Library Monthly Bulletin, Nos. 765-776

国立国会図書館月報

令和7年12月号 (No.776)

令和7年12月1日発行

発行所 国立国会図書館

編集者 田中智子

印刷所 株式会社丸井工文社

〒100-8924 東京都千代田区永田町1-10-1
電話 03 (3581) 2331 (代表)
F A X 03 (3597) 5617
E-mail geppo@ndl.go.jp
<https://www.ndl.go.jp/>

本誌に掲載した論文等のうち意見にわたる部分は、それぞれ筆者の個人的見解であることをお断りいたします。
本誌に掲載された記事を転載する場合（全文または長文にわたり抜粋する場合、または図版を転載する場合）には、
事前に当館総務部総務課にご連絡ください。
本誌517号以降、PDF版を当館ホームページ（<https://www.ndl.go.jp/>）>刊行物>国立国会図書館月報でご覧いただけます。



NATIONAL
D I E T
LIBRARY
MONTHLY
BULLETIN
2025.12

 国立国会図書館
National Diet Library, Japan

図

国

国

書

人

士